

平成25年度

	町名	河川名	PH	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)	大腸菌群数 (個/100mℓ)
①	二木島町	逢川(二木島駐在所前)	6.7	0.5未満	0.5未満	9.7	310
②	新鹿町	里川(里川橋)	7.1	0.5	1.6	8.7	5,400
③	大泊町	宮川(大泊橋)	6.9	0.5未満	1.0	8.0	330
④	木本町	西郷川(螢橋)	7.0	0.7	0.8	7.2	9,200
⑤	井戸町	井戸川(熊野市保健福祉センター前)	8.2	1.1	4.2	10.0	9,200
⑥	井戸町	井戸川(JR 鉄橋下)	6.9	2.7	4.6	8.2	24,000
⑦	有馬町	産田川(旧近大高専前)	7.1	0.5未満	1.0	7.6	790
⑧	有馬町	産田川(矢田橋)	7.2	0.6	4.6	8.0	24,000
⑨	有馬町	産田川(大前池下流)	7.1	1.4	6.4	7.4	16,000
⑩	飛鳥町	大又川(浅見川橋)	7.0	0.5	0.5未満	8.7	700
⑪	五郷町	大又川(湯屋橋)	7.1	0.5未満	1.0	9.2	790
⑫	神川町	神上川(神上出張所前)	7.0	0.5未満	0.5未満	8.5	700
⑬	育生町	尾川川(高千穂橋)	6.9	0.6	0.5未満	7.2	1,300

PH (水素イオン濃度)	水溶液中の水素イオン濃度を示す指標。7が中性、7より低い側が酸性、7より高い側がアルカリ性を示します。水道水の水質基準が5.8～8.5とされています。
BOD (生物化学的酸素要求量)	水中の有機物が微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量。有機性の汚れが大きければそれだけ酸素要求量が多くなりますので、数値が高いほど水が汚れているといえます。
SS (浮遊物質)	水の外見上の美しさを決める最大の因子。粒径が2mm以下の水に溶けず浮遊している物質の量数値が大きいほど汚濁がいちじるしく、正常な生物活動を維持するためには25mg/ℓ以下の数値が望ましいです。
DO (溶存酸素量)	水に溶けている酸素量。数値が小さいほど汚濁がいちじるしく、魚が住むには最低5mg/ℓ以上の数値が必要です。
大腸菌群数	大腸菌及び大腸菌とよく似た性質を持つ菌の総称。それ自体、人の健康に有害なものではないが、大腸菌が多数存在することはその水が、人畜のし尿あるいは、その他の病原菌などで汚染されている恐れがあることから、汚濁の指標に用いられます。